

Green Power プロジェクト

東京学芸大学附属世田谷小学校 沼田晶弘

1. 実践の目的

授業のテーマは「再生可能エネルギーを知ってもらうためのメッセージ制作」である。再生可能エネルギーについての正しい認識をつくるためには、その取り組みの現状や可能性、他のエネルギーとの比較といった理解が重要となる。「他者に伝えるために理解する」というメッセージ制作（CM 作り）のプロセスを通して、子供たちの再生可能エネルギーへのより深い関心を喚起する。

2. 授業内容について

子供たちが意欲的に活動に取り組めるように「電気がなくなったらどうする？」という発問から日本のエネルギー事情を考える。その後に、身の回りにある再生可能エネルギーについて話し合い、資源エネルギー庁が発表したキャラクター、**Green Powers**（『太陽光発電』『(中小規模)水力発電』『風力発電』『地熱発電』『バイオマス発電』それぞれを代表する 5 つのキャラクター）を紹介しながら、それらの発電のメリット・デメリットを伝える。

グループでキャラクターを選択した後、聞き手にどう伝わるかを強く意識しながら、**Green Powers** の CM 作り・発表を行う。そうした一連の活動のなかで、再生可能エネルギーについて知り、関心をもてるようにする。

3. 授業の目的

- ① **Green Power** キャラクターの CM 作りで、表現力を高める。
- ② 聞いてもらう人のことを意識しながら伝える力を育成。
- ③ 活動を進めるうちに、日本のエネルギー事情、再生可能エネルギーに関心をもつ。

4. 授業時間

45 分×2 時間

（連続で行っても良いが、1 時間目と 2 時間目の間に時間があっても良い。）

5. 使用教具

- ・教師のパワーポイントを表示できるプロジェクター等
- ・CM 作りの際に使用できるもの（画用紙、マジック等）

【授業展開略案（45分×2回）】

「CMをつくろう！～Green Powersを世の中に広めよう～」

	時間	活動の流れ	教師の意図
導入	0	<p>○電気がなくなったら... (提示用資料参照)</p> <p>T「電気がなくなったらどうする？」 T「みんなが使う電気は何からできている？」 →火力発電中心の現状、火力発電の仕組みを簡単に説明 →日本のエネルギー自給率について説明 T「石油はあと数十年でなくなる」 T「Green Powerって知っていますか？」 T「学校やみんなの周りで Green Powerをみたことありますか？」 →太陽光パネル、電卓を例にとって説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気という生活に関係した話題から、エネルギーへの関心を促す。 ・ 未来にとってより大きな問題であることを示しながら当事者意識を高める ・ 再生可能エネルギーによる発電方法の紹介。あまり普及していないことを伝える ・ 身の回りの再生可能エネルギーについて認識させる
展開	10	<p>○Green Powers キャラクターの紹介 (提示用資料参照)</p> <p>→5つの Green Power キャラクターを紹介しながら Green Power についてよりくわしく学ぶ T「大人も頑張っているんだけどなかなか広がらない。みんなに Green Power を広めてほしい」</p> <p>「Green Powers の CM をつくろう！」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電の仕組みや発電に適した場所といった再生可能エネルギーの基本的な知識について身につけさせる ・ 各発電方法にはメリット・デメリットがあることを理解させる ・ 大人が上手く伝えきれていないという事実を示すことで、CMづくりへの意欲を高める
	30	<p>○CM 作りのコツとして表現方法を学ぶ</p> <p>T「人の話ってどういう時に聞きたくなる？」 →繰り返し、専門的な話など、聞きたくない話の例を挙げる T「聞く人の立場に立って CM を考えてみよう」 →伝えるべき相手に伝わるためにはどんな表現が必要か →CM制作といつもの「発表」との違いを明確にする</p> <p style="text-align: center;"><u>伝えて嬉しい、聞いて嬉しい</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうやったら伝わるかを意識させる <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手を意識すること ・ 表現の順番を考える ・ ジェスチャーを交える ・ 具体例を挙げる ・ 目線を聞き手に </div>

	40	<p>○担当キャラクター決定</p> <p>→グループは事前に決めておく T「だれに伝える？」 →CM づくりの前に再確認 →CM づくりのルールを説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CM は 30 秒以内 ・ 歌でも踊りでも寸劇でも可 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでキャラクターを選ばせることで主体性を促す ・ CM づくりの段階から聞く人のことを意識させる
	45	<p>○CM づくり開始</p> <p>→机間巡視で聞き手を意識させる声かけ・アドバイス →リハーサルを確認しアドバイス →各グループの見取りから、発表順を工夫する</p>	
	75	<p>○CM 発表</p> <p>→発表順を決める T「もう一度、表現する時の重要なことを思い出そう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作ったものに没頭するあまり、聞き手のことを忘れてしまっている可能性があるため、再度意識させる ・ 良かった点を褒め、認める
ま と め	85	<p>○振り返り記入</p> <p>→他のグループの良かったところを記入させる T「これからもエネルギーのニュースや身の周りの Green Power の設備に気をつけてみてみよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良かった点を見つけさせる ・ 振り返り
	90		

【成果と課題】

- ・ 何を発表するかを考え、友だちと話し合い、自然と再生可能エネルギーに興味をもった。
- ・ 授業終了後に「あ、あんなところにソーラーパネルがある」と、教室から指差す子がいるように、今まで気にしなかった再生可能エネルギーの施設や、エネルギーの大切さに気付くようになった。
- ・ 再生可能エネルギーのことを知識として詰め込もうとせず、興味を持たせるための最低限の情報を伝えること。
- ・ CM づくりに先立って伝えることは「良い仕組みなのに普及してない」ということにポイントを置く。
- ・ 地域によって再生可能エネルギーによる発電の取り組み状況に違いがあることを考慮しながら、5つの発電方法を理解させる必要がある。

【その他】

- ・ 授業は保護者の方もご参加、ご参観頂く形での実施が望ましい。

【講師プロフィール】

沼田 晶弘（ぬまた・あきひろ）

1975年生まれ、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭。アメリカ、ボールステート大学大学院修了。リーダーシップ・コーチング論、スポーツ経営学・管理学専攻。2013年、GREEN POWERプロジェクト『グリーンパワーブック』編集協力、イベントプロデュース。2014年、学校自慢エコ大賞優秀賞受賞。学校図書・小学校「せいかつ」教科書の編集委員。著書「やる気を引き出す黄金ルール～動く人を育てる35の戦略～」幻冬舎